

TSA 設立 20 周年記念行事の報告

平成 28 年 12 月 7 日

(一社) 東北建築構造設計事務所協会

TSA20 周年実行委員長 市場芳男

実りある TSA20 周年記念行事を行う事ができ、嬉しく思っています。

TSA 設立 20 周年実行委員会の第 1 回目を、平成 27 年 10 月 8 日に開き、最終まとめである第 15 回目は平成 28 年 10 月 13 日に行いました。約 1 年間、実行委員会に出席された関係各位には、各回 15 名以上の参加を頂き、大変お世話になりました。主として、20 周年記念誌を広報委員会が担当、記念式典・記念講演は技術委員会と事業委員会、イベント計画は交流委員会と HP 委員会が担いました。根幹である予算組と収支については、広報委員である加川委員が提案からまとめまで担当して頂き、加川委員の協力なしには成し得なかったと思っています。

平成 28 年 11 月 11 日パレスへいあんにおいて、TSA 設立 20 周年記念式典が開催されました。その場で、これまで尽力いただいた石川高穂元会長、梶原紀久夫前会長、佐藤有一元副会長、白鳥行則元副会長の 4 名のこれまでの功労が表彰されました。



引き続き開催された TSA 設立 20 周年記念講演会については前女川町長安住宣孝さんより、被災時の行動とその後の様子を町長の立場で講演していただき、会員個々人の思いが重なり、当時の様子が甦った様に思います。



また、同日開催された FASA 大交流会については、技術委員会と事業委員会のメンバーにより、段取り良く進行してもらいました。官公庁、来賓の方々にも出席していただき、長時間にもかかわらず、有意義に過ごしていただき感謝しています。

翌日のエキスカージョンについては、交流委員会と HP 委員会のメンバーにより、FASA の方々と有意義に過ごすことが出来、予想以上の成果があったと思っています。

現在の建築設計業界、とりわけ私たち建築構造設計実務者にとっては、非常に多くの問題を抱えた状態に置かれ続けています。視点を変えると、後継者の育ちにくい環境にあると思わざるを得ません。少子化による人口減少である現状から逃れる事が出来ない限り、個々では限界があり、団 thểで行動することが望まれます。

今後、この状態を打開するため、構造設計者の実務者集団である TSA は、「未来を繋ぐ安心と安全の建築構造」を掲げ、社会に理解され、認知される団体として活動して参ります。

最後に、TSA 東北建築構造設計事務所協会設立 20 周年記念行事を盛況裏に終えることが出来、会員、賛助会の皆様に感謝すると共に、これからの TSA の成長を心より望みます。

